

平成26年度事業報告

概 要

平成26年度事業は、昨年度に引き続き川崎市、横浜市、相模原市、神奈川県リハビリセンターの4か所において脊髄損傷者等及びそのご家族を対象にピアサポート相談会を実施いたしました。

平成20年度の事業計画で「神奈川県リハビリセンターにおけるピアサポートモデル事業として、グループ相談会やロールモデルの派遣、個別訪問のピアサポート活動などを、神奈川県支部のピアマネージャーや支部役員によって毎月一回定期的実施して行く」として、神奈川県リハビリセンター側と何度も話し合いを持ちましたが、結局実現には至らなかった経緯があり、まずは県内4か所から広く相談を受け付けることになり、全脊連神奈川県支部の役割の一つであるピアサポート事業が、広く県内の一般の脊髄損傷者を対象に本格的に始まった3年目の取り組みとなりました。

もう一つの大きな支部の事業として、平成26年度の公益社団法人全国脊髄損傷者連合会の第13回総会神奈川県大会を、伊勢原市にあるフォーラム246で開催しました。準備に1年をかけてこぎつけた大会でしたが、車いす参加者60名、ボランティアとその他を合わせて40名、全体で100名近くの参加者がありました。ゲストに元パラリンピックチェアスキー選手の、大日方邦子さんを招いて、「壁なんて破れる」という題で講演してもらいました。

この大会で、公益法人になったことを改めて確認した大会になりましたが、少ないスタッフで充実した大会になりました。国際医療福祉大学の学生が、20名ほどボランティアとして参加していただき、大きなトラブルもなく大会はスムーズに進行できました。

また、その他支部が主催する催事や各協会が実施する催事は、会員やそのご家族にも気軽に参加できるようにご案内して順調におこなわれました。

1、～あなたの力になれます～

脊髄損傷者のための相談会の実施

～あなたの力になれます～『脊髄損傷者のための相談会』の開催は、永年に亘り脊髄損傷という重い障害と様々な困難を乗り越えてきた貴重な知識と豊富な経験を持つ当事者が、同じ脊髄損傷者等の精神的な支援と社会生活に必要な

あらゆる情報を提供する相談会を実施し、脊髄損傷者が再び誇りある社会の一員として活躍できるよう支援して行くことを目的に事業を実施しました。

主 催 全国脊髄損傷者連合会神奈川県支部
協 賛 一般社団法人 日本損害保険協会
公益社団法人全国脊髄損傷者連合会

1、相談会開催期日及び会場

- 第1回 川崎市国際交流センター 第1会議室
平成26年11月 9日（日） 13時30分～16時30分
- 第2回 かながわ県民センター4階404号室
平成26年11月17日（月） 15時～16時30分
- 第3回 相模原市けやき会館3階セミナールーム
平成26年11月30日（日） 13時～16時
- 第4回 神奈川県総合リハビリテーションセンター 4 階会議室
平成27年 1 月24日（土） 13時～15時

2、個別相談者合計5名

- 第1回 Aさん（女）42歳 骨形成不全
Bさん（女）45歳 脊髄不全麻痺
- 第2回 3名 Cさん（女）66歳 脊髄損傷者の妻
- 第3回 3名 Dさん（女）40歳 脊髄損傷者
Eさん（男）12歳 脊髄損傷
- 第4回 勉強会を開催

3、支部出席者 延べ21名うちボランティア6名

- 第1回4名 山崎昇、澤藤、田辺、ボラ2名
- 第2回4名 赤城、妻屋、小島、ボラ1名
- 第3回3名 山崎昇、路川、赤城、ボラ1名
- 第4回5名 山崎、赤城、路川、妻屋、宝子山、ボラ2名

4、個別相談会の内容

個別相談会を川崎市、横浜市、相模原市、神奈川リハセンター（厚木市）の4か所で実施し、男性1名、女性4名の合計5名の相談を受けた。又、相談を受ける支部役員は、延べ15名でボランティア6名であった。尚、神奈川リハビリテーション病院で行った相談会は、相談者ゼロであったため、ピアサポートの勉強会を行った。

相談の内容はAさん（女）骨形成不全の人からは、路線バスの運転手の対応の問題などの相談で傾聴することが多かった。

Bさん（女）交通事故での障害だが、主に怪我についての話でこれも又傾聴する事が多かった。Cさん（女）は73歳のご主人が、動脈瘤の手術で脊髄損傷になり、トイレのことでご主人にかかりきりになり、疲れてしまった。ということだったが、男性相談員が対応し、障害を持っていてもトイレ等をクリアしたら、どこへでも出かけられます、と教えてあげた。すると初めて聞くことばかりだったのか、希望を見いだせたようで、涙を見せながらも喜んで帰っていった。

Dさん（女）脊髄損傷者の相談は、自己導入しているが、外出時に自己導尿ができないということだった。女性相談員が対応し、外出先でのコツを教えたら、帰りには隣のトイレで試して、それをマスターして帰っていった。

Eさん（男）は脊髄損傷の小学生で、次年度は中学生だが、養護学校へ行きなさいと言われるがどうしたらいいか。普通学校に入れるかという相談だった。

5、実施に当たったの所感

ピアサポート事業は、今回で3年目の実施となったが、今後、支部の定例活動として継続していくには、更に相談者を増やすことが必要と考えている。それには相談会の開催回数を増やすことと、開催のための広報活動をもっと活発に広範囲に行っていくことが必要である。支部活動にはこのような課題があるが、脊髄損傷者とその家族を対象とする相談会を神奈川県内に定着させ、普及を促進することが私たち支部の為であり、県内の脊髄損傷者やそのご家族の為であると考えている。

2、平成26年度公益社団法人全国脊髄損傷者連合会 第13回総会神奈川県大会の開催

開催日 平成26年6月2日（月）

場所 FORUM246

総会 大研修室

シンポジウム 大研修室

懇親交流会 相模の間

総会

社員数 43名

定足数 22名

出席社員数 39名で総会は成立

- 第1号議案 平成25年度事業報告
- 第2号議案 平成25年度収支決算報告
平成25年度監査報告
- 第3号議案 平成26年度事業計画（案）
- 第4号議案 平成26年度収支予算（案）
- 第5号議案 理事の新任
- 第6号議案 定款の改変について
- 第7号議案 その他の案件・質疑応答
 - ①次年度全国総会開催県について
 - ②決議文の朗読と大会スローガンの採択

- ・議長及び副議長を選出
議長・副議長は執行部一任となり、議長に村上八郎社員、副議長に石井正彦社員が選ばれました。
- ・議事録署名人は小辻憲男社員、祐成常久社員を選出。
- ・第1号議案・第2号議案の説明の後、質問はなかったため一括審議で可決承認されました。
- ・第3号議案・第4号議案の説明の後、労災問題について質問があったが一括審議で可決承認されました。
- ・第5号議案、古谷杉郎理事が労災問題担当で、承認可決されました。
- ・第6号議案、理事が説明を行い、質問はあったが可決承認されました。
- ・第7号議案は次回全国総会は、大阪府において開催するということで可決承認されました。

総会の後、シンポジウムが行われ、

「壁なんて破れる」のテーマで、元パラリンピック選手の大日方邦子さんが講演を行い、会員は熱心に聞き入っていました。

18:00から交流近懇親会が行われ、生演奏のベンチャーズメドレーなどを聞きながら、大いに懇親会は盛り上がり盛況のうちに交流会がお開きになりました。

全国総会に関わった、神奈川県支部のスタッフも少ない中、皆さん頑張って総会は成功裏に終了いたしました。

3、平成26年度支部総会の開催

開催日 平成26年6月29日（日）
場 所 フォーラム246会議室
併 催 1、スポーツ吹き矢大会
参加者 13名
2、懇親会

支部定例総会	出 席 者	16名
	委任状提出者	35名
	合 計	51名

「資格審査」

平成26年度4月1日現在の支部会員数は96名であり、会則第10条2項による総会成立の定足数は49名以上となり、今総会は成立しました。

（総会議事）

議長の選任を諮り、川崎協会の田辺昌美さんを選任し、議事の審議へと進めました。山崎支部長、町田財政部長より平成25年度事業と平成25年度決算報告及び路川みどり会計監査の監査報告が行われました。

第1号議案 平成25年度事業報告

- (1) 脊髄損傷者のピアマネジャー現認研修会の開催報告
- (2) 平成25年度支部総会の開催報告
- (3) 定例役員会の開催 第217回から第222回までの6回
- (4) 支部会報「やわらぎ」の発行 第93号94号の2回発行
- (5) 支部忘年会の開催報告
- (6) 共同募金活動への参加 相模原駅前、厚木駅前、横浜駅西口の3か所
- (7) 第12回全国総会富山県大会出席
- (8) 関東ブロック会議千葉県大会出席 山崎支部長はじめ路川、澤藤、本部から妻屋理事長が出席、付き添いを含め6名が参加
- (9) 協会活動報告 川崎、横浜、県央の各協会報告
- (10) その他の活動報告 県内の各関係機関への参加活動報告

第2号議案 平成25年度決算報告及び監査報告

- (1) 貸借対照表
- (2) 収支決算書
- (3) 平成25年度監査報告書
- (4) 付属 地区協会決算報告書

以上、平成25度事業報告、平成25年度決算報告及び監査報告を一括審議の結果全会一致で承認されました。

また、第3号議案の平成26年度活動方針及び、川崎、横浜、厚木、相模原市の4か所の公共施設においてピアサポート相談会の開催などの事業計画および第4号議案の平成26年度予算案は支部提案通り全会一致で承認されました。

(1)「スポーツ吹き矢大会」の開催

平成26年度支部総会に併せて開催された恒例のスポーツ吹き矢大会は13名が参加して競技が行われ、それぞれ豪華賞品獲得を目指しました。

スポーツ吹き矢は、とくに上肢に障害のある方でも、吹き矢の筒を支える台を利用することでハンディを感じることなく互角に競技できるので、参加者全員が楽しめる競技でした。

(2) 懇親会の開催

支部の懇親会は、会員をはじめそのご家族や友人も参加して相互の親睦を深める目ことを目的に支部総会時に毎年開催しております。

今回も合わせて16名が参加してカラオケやビンゴゲーム、料理を楽しみながら歓談しました。

4、定例役員会の開催

神奈川県支部を運営して36年目を迎えた平成26年度も定例役員会は順調に2か月に1回の割合で計6回開催しました。

役員会には、支部役員が毎回出席して支部活動に関する報告や企画、催事の開催と調整などについて協議を行うなど、支部の運営はすべてこの役員会の合議を経て維持されています。

役員会	開 催 日	開 催 会 場
第223回	平成26年4月19日	伊勢原市「フォーラム246」
第214回	平成26年6月29日	伊勢原市「フォーラム246」
第225回	平成26年8月24日	相模原市「けやき会館」
第226回	平成26年10月18日	神奈川リハビリテーション
第227回	平成26年12月21日	伊勢原市「フォーラム246」
第228回	平成27年2月15日	相模原市「けやき会館」

5、支部会報「やわらぎ」の発行

平成26年度「やわらぎ」の発行は、第93号と94号の2回発行になりました。

第93号は総会議案書

第94号は交通バリアフリーはどれだけ進んだか、川崎協会主催の「スマートフォン」の研修について等が掲載されています。

* やわらぎ第93号（総会議案書）……………平成26年7月 2日発行

* やわらぎ第94号…………… 平成27年3月22日発行

6、共同募金活動に参加

赤い羽根の共同募金は、民間社会福祉事業やボランティア・市民活動をはじめとする地域での支え合い活動を支援する資金となるとともに募金活動を通して市民に助け合いの心を普及する大きな意義を持っていると言われています。支部では、毎年この活動に参加しています。

昨年度は、10月1日に横浜駅西口で妻屋他1名が参加。厚木駅前では路川副支部長他が参加。相模原では毎年の市役所前が台風の影響で中止になり、その代り年末助け合いとして12月1日に相模原駅前で赤城副支部長が参加しました。

7、全国総会神奈川県大会出席

全脊連の第13回全国総会は、6月1日から2日までの日程で神奈川県伊勢原市のフォーラム246において開催され、全国から39社員が出席しました。

支部から、山崎昇、妻屋、赤城、路川が出席しましたが、路川以外は全員本部署員になっているため、路川だけが支部からの出席となりました。

総会は、25年度事業報告、決算報告、監査報告、26年度事業計画および予算案についてなどの審議が行われすべて可決されました。その後大会スローガンの採択と次期全国総会を大阪府で開催することを決め全国総会は終了しました。

8、第36回関東ブロック会議群馬県大会出席

関東地区の東京都、神奈川県、千葉県、群馬県、栃木県、埼玉県、長野県、茨城県、山梨県の各支部が一同に会して、障害者福祉制度やバリアフリー環境の問題点等について意見交換と情報交換と親睦を兼ねて毎年持ち回りで開催しています。

群馬県大会は、10月25日、ニューサンピアで開催され支部から赤城副支部長と付き添いの2名が出席しました。

- ・千葉県支部から全国総会はできるだけ土日開催してほしいという意見が出ました。それは普段働いている人はウィークデーだと参加しづらいからということでした。

9、脊損のピアマネジャー現認研修会 に出席

開催日 平成26年12月 7日（日）
会場 千葉県 千葉市 ホテルポートプラザ
主催 全国脊髄損傷者連合会 関東ブロック会
主管 全国脊髄損傷者連合会千葉県支部
支部出席者 山崎昇・妻屋・路川の3名と付き添いを含め4名参加
プログラム
講演 「海外のピアサポート」
千葉リハのPTの三橋 民穂さんの話がありました

1、演 習 43歳の脊損 高次能障害の人の演習をやりました。

日本損害保険協会助成事業として全脊連が全国規模で毎年開催している関東ブロックでの脊損のピアマネジャー現認研修会は、言うまでもなくピアサポート活動を行う上で必要な技術と資質の向上を目的としていますが、各支部での活動がもっと普及されることが大切であり、研修会の内容をさらに改善する必要があります。

10、障害者用自動車の 無料点検サービスの実施

10月25日神奈川県リハビリテーション病院・駐車場で実施
参加者48台（うち厚木身障18台）

手動装置の付いた障害者用自動車は、移動制約者である私たちの行動範囲を無限に広げてくれます。しかし、装置の点検をはじめオイル交換やタイヤ周りなど自動車自体の点検は、安全運転をするうえで不可欠となります。支部では神奈川県の障害のある人の移動を支援する目的で、JAF神奈川支部と（株）ニッシン自動車工業の協力による無料で行う点検サービスを毎年1回神奈川県リハビリテーション病院の駐車場をお借りして実施しています。

11、各協会報告

26年度は、川崎、県央の各協会がそれぞれ催事を開催し、会員の皆様にご案内し参加者を募りました。

(1) 川崎協会

「確認しておきたい食事の基本」

～自分の食生活に自信を持つために～

開催日 平成26年11月16日(日)

会 場 川崎市国際交流センター

講 師 稲山 貴代氏

(首都大学東京大学院人間健康科学研究科准教授・管理栄養士)

参加者 33名

懇親会 23名

(2) グラウンドゴルフ大会

開催日 10月10日(金)

場 所 南足柄運動公園

参加者 11名

参加者は少なかったが、当日はお天気にも恵まれ日ごろの運動不足を解消できた人が多かったようで、皆さん大いに楽しめました。

12、その他の活動

1、山崎支部 長が県社協の2種・3種会議に出席

「避難行動要支援に関する取組み指針」の講演会に出席しました。

2、路川副支部長は、神奈川県社会参加促進センターの委員として毎月の会議に出席しました。